

臨床研究
「アルコール離脱せん妄の実態調査と看護の現状」
実施計画書 第 1.0 版

研究責任者：岡山済生会総合病院
10 階西病棟 看護部 葛原 千尋
作成日：第 1.0 版 2021 年 6 月 3 日

(1) 研究の目的及び意義

岡山済生会総合病院 10 階西病棟は、肝臓病センター・脳神経外科病棟として稼働している。入院患者のうち多量飲酒を誘因として発症するアルコール性肝硬変や急性膵炎、飲酒後の転倒で外傷性硬膜下血腫を発症し治療が必要となった患者がいる。その患者の中には、アルコール離脱せん妄を発症する患者がいる。当院では 2020 年 6 月から「アルコール離脱せん妄に対する薬物治療のアルゴリズム」が運用されている。しかし、入院前の飲酒量を把握できておらず、入院環境によるせん妄発症と考えられたため、患者がアルコール離脱せん妄を発症することも多い。心療科の介入がなければ、アルコール離脱せん妄への初期対応が十分にできていないのが現状である。そこで本研究では、アルコール離脱せん妄ハイリスク患者の予測因子を抽出するため、現在のアルコール離脱せん妄の実態の調査と看護の現状を把握するため後ろ向き観察研究を計画した。

(2) 研究の科学的合理性の根拠

入院時にアルコール離脱せん妄ハイリスク患者を抽出することで、アルコール離脱せん妄の発症予防・早期対応ができると考えられる。

(3) 方法

3-1) 研究デザイン

本研究は当院単独の後ろ向き観察研究として行う。

3-2) 研究対象及び選定方針

2020 年 8 月 1 日から 2020 年 10 月 31 日の間に岡山済生会総合病院 10 階西病棟に入院した患者。

3-3) 研究方法

上記の条件にあてはまる患者を研究対象者として登録し、下記の診療情報を診療録より取得する。これらは全て日常診療で実施される項目であり、追加の検査等を必要としない。

- ① 臨床所見（年齢、性別、体重、家族の有無、病歴：精神疾患（うつ病・統合失調症・不安障害・多極性障害など）の有無、がん病変の有無、肝疾患（脂肪肝・肝硬変など）の有無、生活習慣病の有無、認知症、アルコール依存症、ウェルニッケ脳症、不整脈、膵炎、高尿酸血症、末梢神経障害）

- ② 1日のアルコール摂取量(純アルコール量 (g/日))
- ③ 最終飲酒日時
- ④ 離脱症状の有無、期間、発症日 (小離脱：不眠・不安・焦燥・頭痛・嘔吐・下痢・痙攣発作・発汗・頻脈・手指振戦 大離脱：小離脱症状に加え著しい失見当識障害や精神運動興奮・幻覚)
- ⑤ 血液データ (AST・ALT・ALP・ γ -GTP・MCV)
- ⑥ 入院期間
- ⑦ 入院形態 (緊急入院もしくは予定入院)
- ⑧ 心療科介入の有無
- ⑨ アルコール離脱せん妄の予防薬、治療薬の有無

3-4) 中止基準及び中止時の対応

以下の場合には、研究を中止する。

- ① 研究対象者から同意の撤回があった場合
- ② 本研究全体が中止された場合
- ③ その他の理由により、研究責任者が研究の中止が適当と判断した場合

研究者は、上記の理由で個々の研究対象者について研究継続が不可能となった場合には、当該研究対象者についての研究を中止する。その際は、必要に応じて中止の理由を研究対象者に説明する。

3-5) 評価

主要評価項目：アルコール離脱せん妄の有無

副次的評価項目：飲酒量の聴取の有無、せん妄発症予防で使用した薬剤、せん妄発症時の看護師の対応、せん妄発症前後の患者の状態の記録

(4) 研究対象となる治療等

該当なし

(5) 予定症例数及び根拠

約 250 例

看護研究の内容についての発表が 2021 年 12 月 4 日であり、研究期間内に実施可能な数として設定した。

(6) 研究期間

岡山済生会総合病院 倫理審査委員会承認日 ～ 2021 年 12 月 4 日

(7) インフォームド・コンセントを受ける手続き

本研究は、後ろ向きに過去の症例を調査するため全ての対象者に直接同意を得ることが困難である。よ

って、委員会にて承認の得られた実施計画書を当院ホームページ上 (http://www.okayamasaiseikai.or.jp/examination/clinical_research/) に掲載し情報公開を行い、広く研究についての情報を周知する。倫理審査委員会承認日から2021年9月30日の間に研究対象者本人あるいはその代理人（配偶者、父母、兄弟姉妹、子、孫、祖父母、親族等）から本研究の対象となることを希望しない旨の申し出があった場合は、直ちに当該研究対象者の試料等及び診療情報を解析対象から除外し、本研究に使用しないこととする。

(8)代諾者からインフォームド・コンセントを受ける場合の手続き

該当しない

(9)インフォームド・アセントを得る手続き

該当しない

(10)データの集計方法、解析方法

エクセル、単純集計

(11)研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益、これらの総合的評価並びに負担とリスクを最小化する対策

11-1)負担及びリスク

研究対象者の既存の診療情報を用いる研究であり、新たな試料及び情報の取得に伴う身体的不利益は生じない。そのため、本研究に起因する健康被害の発生はない。また、経済的・時間的負担も発生しない。

11-2)利益

研究対象者に直接の利益は生じないが、研究成果により将来、医療の進歩に貢献できる。なお、研究対象者への謝金の提供は行わない。

(12)有害事象への対応、補償の有無

本研究は日常診療を行った研究対象者からの情報を利用するものである。また、情報の採取に侵襲性を有していない。従って本研究に伴う研究対象者への有害事象は発生しないと考えられるため、対応策及び補償は準備しない。

(13)研究対象者に対する研究終了（観察期間終了）後の対応

該当しない

(14)個人情報の取り扱い

研究者は「ヘルシンキ宣言」及び「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守する。また、研究対象者のプライバシーおよび個人情報の保護に十分配慮する。研究で得られたデータは本研究の目的以外には使用しない。

診療情報の取得、解析の際には、患者氏名、生年月日、カルテ番号、住所、電話番号は消去し、代替する症例番号を割り当て連結可能匿名化してどの研究対象者か直ちに判別できないよう加工した状態で行う。症例番号と氏名・カルテ ID を連結する対応表ファイルにはパスワードを設定し漏洩しないように研究責任者の責任の下、厳重に管理する。

(15) 記録の保管

本研究により得られた情報は、研究の中止あるいは終了後 5 年を経過した日、または研究結果が最終公表された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日まで保管する。保管については、研究責任者の責任の下、施錠できる部屋、パスワードをかけたパソコン及びファイル等にて適切に行う。保管期間終了後は復元できない形でデータの削除を行う。電子情報は完全に削除し、紙資料はシュレッダー等にて裁断し廃棄する。また、本研究の実施に関わる文書（申請書控え、結果通知書、同意書、研究ノート等）についても上記と同様に保管し、保管期間終了後は復元できない形で破棄する。

(16) 研究の資金源、利益相反

本研究にて発生する経費はない。また、報告すべき企業等との利益相反の問題はない。また、別途提出する研究責任者の利益相反状況申告書により院長及び倫理審査委員会の承認を受けることで研究実施についての公平性を保つ。

(17) 研究情報、結果の公開

研究対象者より希望があった場合には他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、この研究の計画及び方法に関する資料を提供する。研究終了後には学会、論文投稿にて結果の公表を行う予定である。なお、その際にも研究対象者を特定できる情報は公開しない。この研究における個人情報の開示は、研究対象者が希望した場合にのみ行う。

(18) 研究実施に伴う重要な知見が得られる場合に関する研究結果の取扱い

該当しない

(19) 委託業務内容及び委託先

該当しない

(20) 本研究で得られた試料・情報を将来の研究に用いる可能性

本研究で得られた情報を別研究にて利用することが有益であると研究責任者が判断した場合は、

研究情報を二次利用する可能性がある。その際には改めて研究計画書を作成し、倫理審査委員会の承認を受ける。

(21) モニタリング及び監査の実施体制及び実施手順

本研究ではモニタリング、監査は実施しない

(22) 研究の変更、実施状況報告、中止、終了

変更時：本研究の計画書や説明文書の変更を行う際は、あらかじめ院長及び倫理審査委員会に申請を行い、承認を得る。

終了時：研究の終了時には院長及び倫理審査委員会に報告書を提出する。

中止時：予定症例数の確保が困難な際と判断した際、院長又は倫理審査委員会より中止の指示があった際には、研究責任者は研究の中止、中断を検討する。中止、中断を決定した際には院長及び倫理審査委員会に報告書を提出する。

(23) 他機関への試料・情報の提供、又は授受

該当しない

(24) 公的データベースへの登録

該当しない

(25) 研究実施体制

実施場所：岡山済生会総合病院 看護部

責任者：岡山済生会総合病院 10階西病棟 看護師 葛原千尋

分担者：岡山済生会総合病院 10階西病棟 看護師 石本奈央

岡山済生会総合病院 10階西病棟 看護師 上原ももな

岡山済生会総合病院 10階西病棟 看護師 岡崎愛

岡山済生会総合病院 10階西病棟 看護師長 高橋真由美

(26) 相談等への対応

以下にて、研究対象者及びその関係者からの相談を受け付ける。

岡山済生会総合病院

〒700-8511 岡山市北区国体町2番25号

10階西病棟 看護師 葛原千尋 tel：(大代表) (086)-252-2211

(27) 参考資料

- ・一般社団法人日本アルコールアディクション医学会日本アルコール関連問題学会：新アルコール・薬物使用障害の診断治療ガイドラインに基づいたアルコール依存症の診断治療の手引き, 第1版, 2018
- ・石井博正：せん妄への不安、解決します：羊土社, レジデントノート, Vol. 20, No. 15, 2593-2599, 2019
- ・真栄里仁, 他：アルコール離脱せん妄の治療, 臨床精神薬理, 20:181-190, 2017
- ・木村 充：アルコール離脱せん妄, 精神医学, 60:243-252, 2018
- ・澤山 透：アルコール離脱せん妄の現在の考え方と治療, 精神科治療学, 28:1163-1172, 2013